

刈谷マイクロメイカーフェアに出展してみました



音楽研究所

2026年1月19日 12:03



kmmf2026

概要

刈谷マイクロメイカーフェア(kmmf2026)に出展したときの記録です。個人的な記録というよりは、出展の要領、ノウハウなど将来、出展を希望する人に役立つような情報を中心に記載します。

出展申請



会場の様子

運営と開催場所

刈谷市はおおざっぱに言って名古屋の近く、会場は駅のすぐ近くで、おそらく行政が運営している施設で、天井の高い体育館のような場所です。私は京都の精華町から車で2時間ちょっとでした。会場の横に市営の駐車場があり、2Fと5Fでつながっています。24時間千円で停めることができます。イベントの運営はインプレスの直営のようでしたが、スタッフなど、地元の組織の協力をかなり得ているような印象です。まあ、地元との関係が何かないと、知名度がほとんどない刈谷では開催しませんよね。。。ちなみにミニメイカーフェアのようなイベントは、IAMASやYCAMなど、学校や行政、その他の組織がフランチャイズとして開催していることがあります。（インプレス自体も米国makeのフランチャイズ。）

募集期間

出展募集は、10月下旬から11月上旬でmakeのサイトの他、facebookなどのSNSでも告知されます。開催は1月17日です。ちなみに2024年は3月、2025年は開催なしとなっています。

応募条件

マイクロメイカーフェアと名のつくものでは、基本的に、地元の出展者を優先して選考が行われます。たとえば、マイクロメイカーフェア浜松では、個人のメイカーだと、東海地方に在住の人でないと出展が難しいように思います。また、学生の出展者が優先されるような感じではないかと思えます。メイカーフェア東京は全国からの応募数が多く、倍率が高くて出展が難しくなっていますから、地元の人、若い人はこちらに応募するといいかもかもしれません。

会場の関係からか、電源を使用するブースは抽選になります。私は京都府在住です。優先順位は低いと思われるので、まだ可能性がありそうな電源なしの枠で申し込みました。出展した「ミュージック・トレイン」という作品はモバイルバッテリーで1日稼働させることができます。

出展状況

結果的に、出展者を見ると名古屋近辺が半分、近畿、北陸、関東などがあとの半分という感じでした。また、若い人のブースが多くて、大掛かりなもの、電気をたくさん使いそうなものは少な目でした。

作品の設置と展示



ミュージック・トレインの設置

設置

私の展示場所は真ん中の島の真ん中あたりでした。いつもは展示物が多いためコーナーを希望するのですが、今回展示したミュージック・トレインは、特にコーナーである必要はなく、希望を出していませんでした。

刈谷マイクロメイカーフェアのテーブルは45cm×180cmです。たとえばメイカーフェア東京だと60cm×180cmですから、奥行きが少し短い感じです。N T O Oといったようなイベントでは、160cmとか140cmぐらいのテーブルもありますから、横が180cmあるのはありがたいです。

ミュージック・トレインは最低限で、45cm×120cmの場所とノートパソコンを置く場所が必要ですが、これはギリギリのサイズです。イルミネーションや資料、カードなどを置く場合は、もっと広いスペースが必要になります。ミュージック・トレインの展示にかかわらず、私は、60cm×90cmの板2枚（あるいは防火条件により60cm×45cmの亚克力4枚）を持って行って、それを本来のテーブルの上に置くということをしています。これで常に60cm×180cmのスペースを確保できます。

写真のように、作品の背後、テーブルのキワキワに黒いパネルを設置しています。Daisoで売っている（おそらく）パーティション用のパネルで黒と乳白色がありますが、今回は黒です。表面がツルツルしているため、写真のようにLEDを横に置くと綺麗に反射します。ちなみに、乳白色のものは、背面からプロジェクターで映像を投影すると、いい感じで表面に透けて映ります。正方形とその半分の長方形のパネルがあり、ジョイントで組み合わせて自由に大きさや形を決めることができます。来場者が写真撮影される場合、背面にある余計なもの、たとえばスマホをいじってるおじさん（私）とかが映り込むのを防ぐことができます。

駐車場と会場を何回か往復し、1時間半くらいで写真のように設置できました。すべてを45cm×180cmのテーブルに乗せるのは難しいことが分かると思います。テーブルクロスやその他のものは、今回、黒で統一しています。

来場者



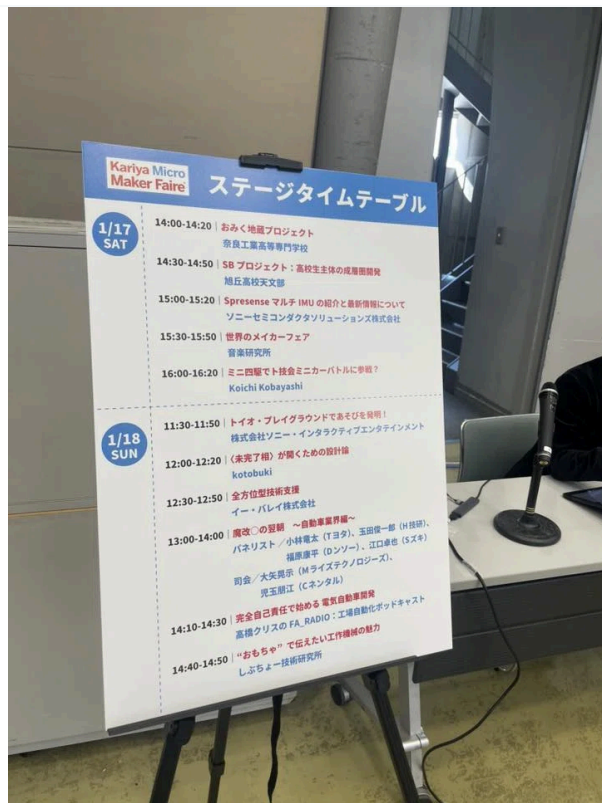
無料のイベントですが、入り口でリストバンドを配ったり、入場者数のコントロールをしていたようです。メインとなる会場には冒頭の写真のような感じでブースが配置され、奥のほうにプレゼンテーションをするためのステージがあります。2Fにも展示スペースがあったのですが、気づいていない来場者がいたかもしれません。

来場者は家族連れが多く、開場前にはすこし列ができていました。来場者は1日を通してあり、時間による変化はあまり感じられませんでした。展示したミュージック・トレインは、電子ピアノをひくとNゲージの鉄道模型が走るというもので、小学生ぐらいの子供が弾いて、お父さんやお母さんがその動画を撮るという感じのことが多かったです。中には演奏が上手な子もいるのですが、たいていは出鱈目に弾いて、すべての電車をゴールまで走らせるというのが多かったです。

作品の説明はあまり必要なく、見ればわかるという感じでのものなので、私は、実演のために、かなりの時間、電子ピアノを弾いて過ごしました。

ちなみに、出展者にも子連れの人が多く、このあたりは、メーカーフェア東京とはだいぶ異なり、どちらかというとNTOOの雰囲気に近い感じです。

ステージ発表



発表内容



魔改造の夜

自分の作品やプロジェクトを発表するというものがほとんどで、20分の持ち時間です。専門的な内容のものや、だれでも分かるような苦労話まで色々です。少し変わったもので「魔改造の夜」の出演者が集まって話をするみたいなのもありました。近隣に番組に参加していた自動車とかがあるためかもしれません。

世界のメイカーフェア

私も「世界のメイカーフェア」というタイトルで申し込んでいました。メイカーフェア東京やメイカーフェア京都でもプレゼンテーションを申し込んだことがあったのですが、倍率が高いのか、通ったことがありませんでした。刈谷マイクロメイカーフェアでは、プレゼンテーションの倍率がそれほど

高くないであろうことが推察されます。ただ、20分では全然時間が不足、最後、数枚のスライドを残して時間になってしまいました。

アジアやその他のメイカーフェアについてその特色を紹介する予定でしたが、個人の経験をかなり端折って話すのに終始してしまいました。

懇親会

会場と内容

初日の夜に懇親会がありました。参加費4千円です。場所は、会場と同じで、イベント終了が17時、懇親会の開始が18時半でした。バイキング形式のケータリングで、食べ物の量は十分にあるといった感じです。メイカーフェア東京の懇親会では、食べ物の争奪戦が行われあっという間に無くなってしまおうのですが、こちらでは2時間半の終了までにちょうど無くなるといった感じでした。ただしアルコールの提供はなく、欲しい人は自分で持ってきてくださいということでした。

ライトニングトーク

6～7組を2回に分けて、合計10組以上のライトニングトークの時間が設けられました。申し込んだのを忘れていましたが、私は発表の1番に割り当てられていました。1人4分です。ほとんどの人はプロジェクターに資料を映して自分の作品やプロジェクトを説明していたのですが、私は直前になるまで気づいていなかったため、資料なしに、適当に話して4分が経過しました。

あとの時間は、他の人のライトニングトークを聞いて過ごしましたが、面白い話が多く、昼間、他の人のブースを見て回らなくても、だいたいの内容が分かる感じでした。面白かったのは、公道を走るこたつを作っている人なので、市役所にナンバーの申請に書類をもって行って、「これは何ですか?」と言われた話とか、「回転する開店祝い」を展示していた人の着想とか、他の色々な作品の紹介とか、ヨガのシートを上手に巻ける道具を作っている人の話とか。



回転する開店祝い



公道を走れるこたつ

ナーディダービーという昼間、子供用に開催されているワークショップがあるのですが、合間に、これを自由にできる時間というのがあって、けっこうな大人が一生懸命になってやっているのも風情があってよかったかも。



ナーディダービー

最後に、刈谷駅周辺について

会場周辺

会場の横に市営駐車場（24時間千円）があり、会場のすぐ横にも有料駐車場（12時間千円）があります。会場はおそらく行政の施設で、1Fに観光案内所的なものと、上の階に会議室などがあります。ビルの2Fのトイレから駅のホームが見えたように思いますが、このあたり、記憶があやふや。コンビニは500mくらい歩くとあります。いつもDaisoの場所も調べておくのですが、今回は必要性が低かったため、不明です。おそらく、ちょっと歩いていける距離には無いのではないかと思います。

ホテル

アクセスイン刈谷というところで、1泊6千円代、会場から徒歩5分で朝食付きというのがありました。普通のホテルで関東だと1万円以上はする感じで、朝食はかなり良いほうの部類に入ります。部屋も綺麗で、浴槽がなんか丸っぽくて微妙に広めでした。駐車場は有料なので、車は会場横の市営駐車場に停めたままにして歩いていきました。